

設立趣意書

地球環境を守りつつ同時に持続可能な経済的発展を達成するには、資源利用の最適化と環境への排出を最小化することが必要です。ところが、現在の社会が直面している環境問題の多くは、企業や自治体が個別に解決できるものでなく、技術・マネジメント・資金・法規制などのさまざまな面にわたって現状を打破しなければ解決できない問題です。

国際連合大学では、1995年4月に第一回ゼロエミッション世界会議を開き、資源循環型社会の構築のため、ゼロエミッション構想を提案し、その普及に努めてまいりました。

幸いなことに、ゼロエミッション運動は、政府の環境政策の重要な柱として位置づけられ、多くの企業、地方自治体がゼロエミッションを重要なコンセプトとして受け入れ、企業活動や地域の活性化に生かしております。学界もまたゼロエミッションの理論的解明とその実践へ向けての方策に取り組んでおります。

国際連合大学では、ゼロエミッション運動の輪をさらに広げるため、企業、地方自治体、学界が一堂に会し、情報交換できる場を提供したいと考え、この数年準備を進めて参りました。それが「国際連合大学ゼロエミッションフォーラム」です。本フォーラムは、企業グループ、地方自治体グループ、学界グループを統合する組織として位置づけております。本フォーラムは、これらの三つの異なるネットワークの連携を図ることにより、高度に工業化した中で、新たな物質循環型社会を実現することを目指して活動します。

平成12年4月20日